

# 平和新聞

発行 日本平和委員会  
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会  
〒543-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル210号  
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837  
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

## 新しい年に寄せて

### 会長 西 晃

新年あけましておめでとございます。  
2018年が皆様にとって素晴らしい一年になりますように祈念申し上げます。

安倍政権により窒息寸前にまで追い詰められたこの国の議会制民主主義・立憲主義を、今こそ私たち自身の手に取り戻しましょう。  
アメリカ追随、嘘と欺瞞による国民分断政治はもうお断りです。

草の根の市民と野党の共闘・協同に確信を持ち、日本国憲法を主体的に選択し直し、日々行使するべく、共に頑張るつもりです。  
今年もよろしくお願いたします。

### 大阪府職労 執行委員長

有田 洋明

府職労本部大会で「みんなが笑顔になるために、No Union No Life」憲法の輝きをそのまま未来へつなごう」をスローガンに決定しました。前後して「ICANがノーベル平和賞受賞」「伊方原発3号機の運転差し止め勝利判決」など嬉しいニュースが相次ぎました。大会では、若手や女性から元気な発言が目立ち新たな運動の展望を切り開くものになりました。9条改憲を絶対許さない20

18年にしましょう。

## 沖縄連帯行動盛大に

沖縄県名護市長選挙告示まであと2週間余となった、1月15日昼、大阪平和委員会は、近鉄上本町駅頭で辺野古の米軍基地建設工事をやめさせようと、「オスプレイがヘリの部品が落ちてくる。これが沖縄の現実」と訴えるビラを配りながら署名宣伝行動を実施しました。

天王寺平和委員会の平嶋正さんがマイクを握り「米軍基地の70%が沖縄に集中。その沖縄にさらに米軍新基地を建設するなどもつてのほか」と訴えました。ひとりの女性は署名しながら「空からモノが落ちてくるのはひどいね」と沖縄の現実を憤っていました。

この行動には、寒いなか天王寺、生野平和委員会からも駆けつけ12人が参加。「沖縄県民の民意尊重と、基地の押し付け撤回を求める全国統一署名」が計22筆集まりました。



## 「いのちの海」上映支援カンパ

大阪平和委員会は、1月16日天王寺区内で「いのちの海 辺野古大浦湾」を上映しました。

上映後、天王寺の男性は「沖縄に行っただけではないが、この映画を見て、美しい海を埋め立て新基地建設を強行しようとしている安倍政権は許せない」と思った、天王寺の女性は「ヒロシマの原爆ドーム、世界大会など現場に行つて学ぶことが自分の活動の源泉、力になっている。今日の映画も見てよかった」、八尾の男性は「4人の仲間とともに1月30日から2月2日まで名護市長選挙支援に行くので今日は準備のためこの映画を見た」とそれぞれ述べました。



この上映会には24人が参加し、多額の名護市長選挙支援カンパが寄せられました。

うた声協議会、日本ユーラシア友好協会、大阪AALA、大阪平和委)は12月18日昼、空堀商店街で「安倍9条改憲NO!・憲法を生かす全国統一署名」宣伝行動を20人で実施。平和遺族会などの代表が次々にハンドマイクを握り「平和憲法は戦没者の遺言」「安倍首相が改憲の動きを強めていきます。戦後70年以上、自衛隊は戦争によって一人の命も奪われていません。これも憲法9条があるからです」などと商店街を歩く人々に訴えました。うた声協議会のメンバー5人による「青い空」「沖縄を返せ」などの合唱もあり元気の宣伝行動になりました。

行動の最後に空堀商店街アーケード下を皆で歩き商店と買い物客に地声でビラを配布しながら「憲法9条を守り生かそう」と訴えました。パン屋さんから「久しぶりやな。がんばって」と声援が寄せられる一コマもありました。

この行動では合計16筆の署名が集まりました。次回は1月19日に実施予定です。

## 安倍9条改憲ノー！ 平和友好7団体で

平和友好7団体(大阪安保、大阪原水協、大阪平和遺族会、



### 《2月の行事案内》

- 7(水) 事務所管理委員会 10:00 / 常任理事会 18:00
- 8(木) 日本平和委員会組織財政合同委員会 13:00 上羽
- 9(金) 日本平和委員会常任理事会 片方、岩本、上羽(～10日)
- 11(日) 「建国記念日」不承認「大阪府民のつどい」  
記念講演「戦争をはじめさせないために」  
原田敬一・佛敎大学教授 13:00 たかつガーデン8F
- 17(土) 日本平和委員会理事会 片方、岩本、上羽(～18日)  
革新懇総会 13:30 グリーン会館
- 24(土) 『憲法を武器として 恵庭事件50年目の真実』鑑賞費500円  
上映①13:00～ ②15:00 府社会福祉指導センター

### 今月の言葉—「私たちにとっての光は核兵器禁止条約です」(サーロー・セツコさんのノーベル賞受賞演説)

くすぶるがれきの下敷きになった13歳の時、私はがんばり続け、光が見える方向に進みました。そして生き延びることができました。今の私たちにとっての光は、核兵器禁止条約です。この会場におけるみなさんの前で、広島のがれきの中で私が聞いた言葉を繰り返します。「あきらめるながんばれ！光が見えるだろう？そこに向かって這っていけ」



# 「キャンドルと私」

昨年大阪版3月号に韓国の友人イユンスさんに「キャンドルの力 朴大統領を弾劾」という文章を寄稿してもらい好評を博しました。今回はその後の韓国の変化についての寄稿文です。

日本の皆さんこんにちは。

2017年も本当に最後の最後ですね。この手紙を皆さんが読む時期はすでに2018年になつていくんですね。あけましておめでとうございます。健康が何よりも優先です。2018年もがんばりましょう。後で後悔が残らないようにつねにがんばりましょう。

## 今年の3月

に「キャンドルの力」という記事で皆さんに挨拶をしてから韓国はいろいろ大きな変化がありました。

キャンドルの力で朴槿恵前大統領は弾劾、拘束されたし、早速行われた選挙で新しい大統領が選ばれました。キャンドルデモ後の1年間で普通人であるこのわたくしが話すのは本当にありえないし、できないことです。自分が感じた変化を話してみたいとおもいます。

今も弾劾が確定できたその瞬間を覚えています。この体全体でそのうれしさを感じたのをおぼえています。「もう韓国は生きた！そうそう、これが正義だ」と興奮しました。瞬間、日本で応援してくれた方々を思い出し、

迷わず国際電話をかけた（今考えると恥ずかしいですが）のも覚えてます。

私は個人的に文在寅大統領はあまり好きではありません。いや、好きだった時期もありましたが、今年の選挙運動のときにたいへん失望していました。やさしい印象で、とてもいい人だとはおもっていましたが、荒い政界では似合わない人だとおもいました。とんでもない主張をする政治家にもっと強くパンチを投げてほしかったのですが、その討論の場でもあまりにも紳士だったので、なんかもどかしく感じました。もちろん、いろいろな利害関係が絡まっている政界ですし、もっと多くの国民の気に入らないといけないので、私のような気が早い人にはそれが中度半端に感じられたかもしれません。

ですけれども、文在寅大統領が就任してからすぐ、変化はありました。

何よりうれしかったのは国民の意見に耳を傾けようとする努力だと私もおもいます。キャンドルデモのときの市民の声を忘れないでそれを政策に反映しようとする国民との意思疎通の努力でした。今もホームページがオープンされていますが、関心のある方はぜひご覧になってみてください。

( <https://www.gwanghwanoon1st.go.kr/> )

## 就任してすぐ

大統領引継ぎ委員会では、「光化門1番街国民引継ぎ委員会」というホームページをオープンしました。9万人の市民が「国民引継ぎ委員」として参加し、18万件の政策を提案しました。その提案のなか167件の提案を優秀課題として選んで、そこからまた100件国政課題を選別して、国政運営に反映することになりました。

これが就任して50日の間の大統領引継ぎ委員会の初活動でした。急がずに、まず、国民の意見を聞いて、今この国に必要なのはなんなのか、国民が至急に解決してほしいのはなんなのかを聞く努力をしたのです。いままでの政権では見られなかった部分です。これこそが「キャンドルの力」だと私は思います。この国は国民が主人ですすべての権力は国民から出るという民主主義の基本に忠実な初歩みだと思います。こういう意見を集めてから着々と正義の歩みは前をむいて歩きはじめました。

- (1) セウル号船体引き上げ
- (2) ゴリ原子力発電所1号機廃炉、脱原発政策の開始
- (3) 積弊清算のための努力

など、就任してから次々と実行する政策にわたしはとても感心をしました。「そうそう私が言いたかった問題だ。そうそう」。自分も知らないうちに、うなずいていました。

## 特にセウル号

船体引き上げのときはいまも忘れられません。あんなに早く引き上げられるの

に今まで何もしていなかったのか。再び怒りが込み上げました。引き上げ後に、いままで探せなかった家族に会った遺族の顔を今も忘れられません。引き上げ作業と発掘作業を通して遺族たちの心も治療ができたと思います。こういう心をこめた政策が国民に感動と国への信頼をあげるのだと自分自身は思いました。

大韓民国の国民みんなが同じ考えをしているのはありません。私のように現政権の支持者もあれば、太極旗を振りながらまた違うイメージの国を考えている人々もいます。国民の分裂だという見方もありますが、私はそうおもいません。いろいろな声が出るのは民主主義では当たり前のことだと思えます。何かも同じ声で一致している社会は腐るしありません。以前の政権で私たちがみんな体験したことです。その政権ではセウル号船体引き上げや原発の心配の問題など話せる場もなかったし、聞いてもくれなかったのです。大統領が王様でもないのに（実際王様も自分勝手にはできなかつたそうですが）国民の声は無視して、自分の利益ができるその方向で政策を広げた時代とは違う時代が来るべきだと思います。

## キャンドルデモ

を通して民主主義の本当の意味がわかったし、一人では弱いだだけのキャンドルの火ですが、ひとつひとつ集まったらどんなに強くなるのか

わかったと思えます。一人で悩んでいた問題を一緒に話せるいろんな空間がネットでもできていますし、国のホームページでもそういう政策への意見と請願運動が活発に行われています。次々といろんな社会問題（殺虫剤卵、地震、火災、前政権の腐敗問題...）が相次いだ2017年ですが、以前感じた不信任感、不安感はかなりなくなつた2017年にもなつたと思えます。キャンドルデモを通して個人と個人、社会と個人、国と個人が意思疎通をする方法がわかるようになったと思えます。そして、2018年も期待ができる社会になりつつあると私はおもいます。

特に私は来年からの育児政策と教育政策にとっても期待をしています。共働きをしている家庭の保育問題や激しい競争で傷つけられている子供たちにも新風が吹くことを願っています。

とりとめもない話を聞いてくれてありがとうございます。皆さんを通して、私は日本という社会を理解しています。そしてそういう日本が好きになりました。

来年も正義正しい、戦争のない平和の世界のために頑張ってください。いや、一緒に頑張ります。

2017・2018・2019 李胤守

